



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年11月12日

上場会社名 株式会社シノプス 上場取引所 東  
 コード番号 4428 URL <https://www.sinops.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 南谷 洋志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 島井 幸太郎 TEL 06 (6341) 1225  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の業績 (2021年1月1日～2021年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	767	56.0	26	—	39	—	24	—
2020年12月期第3四半期	492	△27.1	△160	—	△171	—	△120	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	3.95	3.88
2020年12月期第3四半期	△19.88	—

(注) 2020年12月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	1,764	1,363	77.0
2020年12月期	1,718	1,329	76.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 1,359百万円 2020年12月期 1,321百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,201	32.1	100	340.2	112	852.1	59	638.9	9.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	6,173,000株	2020年12月期	6,107,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	123株	2020年12月期	80株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	6,138,852株	2020年12月期3Q	6,062,501株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(追加情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### a. 経営環境

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響は大きく、経済活動の回復に向けた動きは鈍く、先行きは極めて不透明な状況が継続しております。当社の主要顧客である小売業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による在宅勤務、外食控え等からくる巣ごもり消費拡大への対応、感染予防を目的とする新しい生活様式の浸透によるマスクや消毒液などの衛生管理用品の需要急増への対応、店舗における感染拡大防止策の実施等、非常に激しい変化が求められました。

また、小売業界においては、労働需給の逼迫による人件費、物流費の上昇や業種業態を超えた顧客の獲得競争に加え、持続可能な開発目標 (SDGs) の採択に基づいた食品ロス削減運動も社会課題として対応が急がれております。そのため、省力化・食品ロスの削減に貢献できる当社の需要予測・自動発注サービスに対するニーズが高まっており、今後もさらなる市場拡大が見込めます。

このような大きな環境変化の中で、当社は昨年よりクラウドサービス中心への方針転換を掲げ、タイムリーに店頭在庫を把握できる機能や惣菜カテゴリに特化した需要予測・自動発注サービスを中心に新サービスの開発を急ピッチで進めてまいりました。

その結果、2021年9月30日時点でARR (注1) は628,334千円 (前年同期比24.3%増)、シェア率は17.1% (同2.4%増)、契約企業数は97社 (同21社増)、契約件数は7,061件 (同1,671件増)、クラウドサービスの有償アカウント数は1,604アカウント (前事業年度末比1,361アカウント増) (注2) に増加しております。当第3四半期累計期間における売上高は767,904千円 (前年同期比56.0%増)、営業利益は26,380千円 (前年同期は160,195千円の営業損失)、経常利益は39,940千円 (同171,593千円の経常損失)、四半期純利益は24,247千円 (同120,514千円の四半期純損失) となりました。

(注1) ARR: Annual Recurring Revenueの略。各四半期末のMRR (Monthly Recurring Revenueの略) を12倍して算出。MRRは、対象月末時点における継続契約企業に係る月額料金の合計額 (一時的な売上高は含まない)。

(注2) アカウント数とはクラウドサービス利用数。1店舗で3サービス利用している場合は3アカウント。

#### b. 経営成績の分析

(単位:千円)

	2020年12月期 第3四半期累計期間	2021年12月期 第3四半期累計期間	増減額	増減率
売上高	492,312	767,904	275,592	56.0%
売上原価	373,796	430,707	56,910	15.2%
売上総利益	118,515	337,197	218,681	184.5%
販売費及び一般管理費	278,711	310,817	32,106	11.5%
営業利益又は営業損失 (△)	△160,195	26,380	186,575	—
経常利益又は経常損失 (△)	△171,593	39,940	211,533	—
四半期純利益又は四半 期純損失 (△)	△120,514	24,247	144,761	—

#### ①売上高

パッケージ売上高は、大型案件の新規受注が主要因となり、112,137千円 (前年同期比83,948千円増・297.8%増) となりました。導入支援売上高は、クラウドサービス稼働のためのインターフェイス開発、導入支援プロジェクトの増加が主要因となり、207,683千円 (前年同期比138,405千円増・199.8%増) となりました。サポート売上高は既存ユーザーの店舗展開が順調に進んだことが主要因となり、228,489千円 (前年同期比30,172千円増・15.2%増) となりました。クラウド売上高 (過去の経営成績の分析におけるレンタル売上高を含めております。) は、新規クラウド利用アカウント数が増加したことが主要因となり、219,594千円 (同23,066千円増・11.7%増) となりました。その結果、当第3四半期累計期間における売上高は767,904千円 (同275,592千円増・56.0%増) となりました。

## ②売上総利益

当第3四半期累計期間は、全社員のリモートワーク推進により旅費交通費等が減少した一方で、クラウドサービスの展開に伴い製造部門の社員数やサーバー利用料が増加したことが主要因となり、売上原価が前年同期比56,910千円増加（前年同期比15.2%増）となりました。その結果、売上総利益が337,197千円（同218,681千円増・184.5%増）となりました。

## ③営業利益・経常利益

当第3四半期累計期間は、リモートワークの定着に伴い実施した本社オフィスの縮小により家賃が減少、WEB会議推進により旅費交通費が減少した一方で、クラウドサービス拡販に伴う営業部門の社員数増加、ウェビナーの開催や実践リテールDX研究会の運営・活動に要した広告宣伝費の増加が主要因となり、販売費及び一般管理費が前年同期比32,106千円増加（前年同期比11.5%増）となりました。その結果、営業利益が26,380千円（前年同期は160,195千円の営業損失）となりました。

また、東京都との共同プロジェクト関連の補助金収入を営業外収益として計上しており、経常利益は39,940千円（前年同期は171,593千円の経常損失）となりました。

## ④四半期純利益

当第3四半期累計期間における四半期純損失は24,247千円（前年同期は120,514千円の四半期純損失）となりました。

なお、当社は「sinops事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産

当第3四半期会計期間末における総資産は1,764,424千円（前事業年度末比45,489千円の増加）となりました。主な要因は、売掛金が60,527千円、流動資産のその他に含まれる未収法人税等が41,237千円、投資その他の資産に含まれる差入保証金が13,681千円減少した一方で、現金及び預金が133,906千円、無形固定資産が24,464千円増加したこと等によるものです。

### ②負債

負債は400,819千円（前事業年度末比11,193千円の増加）となりました。主な要因は、長期借入金が28,500千円減少した一方で、流動負債のその他に含まれる前受金が31,857千円、未払法人税等が10,670千円増加したこと等によるものであります。

### ③純資産

純資産は1,363,605千円（前事業年度末比34,296千円の増加）となりました。主な要因は、新株予約権が3,785千円減少した一方で、資本金及び資本剰余金がそれぞれ6,952千円増加、利益剰余金が24,247千円増加したこと等によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期通期の業績予想につきましては、2021年2月10日の「2020年12月期決算短信」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

また、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,077,266	1,211,173
売掛金	256,508	195,981
仕掛品	786	17,199
その他	63,271	15,479
流動資産合計	1,397,834	1,439,834
固定資産		
有形固定資産	37,475	30,182
無形固定資産	168,043	192,507
投資その他の資産	115,581	101,899
固定資産合計	321,100	324,590
資産合計	1,718,934	1,764,424
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,915	8,874
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	34,200	34,200
未払法人税等	2,238	12,909
賞与引当金	—	31,029
製品保証引当金	12,252	20,964
受注損失引当金	2,219	269
その他	164,278	154,353
流動負債合計	323,104	362,599
固定負債		
長期借入金	62,950	34,450
退職給付引当金	3,571	3,769
固定負債合計	66,521	38,219
負債合計	389,626	400,819
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	413,811	420,763
資本剰余金	374,241	381,193
利益剰余金	533,495	557,743
自己株式	△162	△233
株主資本合計	1,321,385	1,359,467
新株予約権	7,922	4,137
純資産合計	1,329,308	1,363,605
負債純資産合計	1,718,934	1,764,424

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	492,312	767,904
売上原価	373,796	430,707
売上総利益	118,515	337,197
販売費及び一般管理費	278,711	310,817
営業利益又は営業損失(△)	△160,195	26,380
営業外収益		
受取利息	8	11
補助金収入	—	13,596
その他	1,103	739
営業外収益合計	1,112	14,346
営業外費用		
支払利息	32	520
その他	12,476	266
営業外費用合計	12,509	786
経常利益又は経常損失(△)	△171,593	39,940
特別損失		
固定資産除却損	146	2,714
特別損失合計	146	2,714
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△171,739	37,225
法人税、住民税及び事業税	799	13,190
法人税等調整額	△52,024	△212
法人税等合計	△51,225	12,978
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△120,514	24,247

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。